

<参考資料> 2019年度 福井県 専門看護師・認定看護師一覧

専門看護師

分野名	登録数	知識と技術（一部）	研修内容
がん看護	8	・がん患者の身体的・精神的な苦痛を理解し、患者やその家族に対してQOL(生活の質)の視点に立った水準の高い看護を提供する。	がん患者や家族とのコミュニケーション エンドオブライフケア アドバンスケアプランニング 倫理的な問題 意思決定支援 症状マネジメント 認知症がん患者への意思決定支援 がんの親を持つ子どもへのサポート
精神看護	2	・精神疾患患者に対して水準の高い看護を提供する。また、一般病院でも心のケアを行う「リエゾン精神看護」の役割を提供する。	一般病院で実践できる自殺予防のためのケア 認知症者への接し方 看護倫理(特に小児看護)
慢性疾患看護	1	・生活習慣病の予防や、慢性的な心身の不調とともに生きる人々に対する慢性疾患の管理、健康増進、療養支援などに関する水準の高い看護を行う。	慢性疾患における自己管理行動支援
急性・重症患者看護	1	・緊急度や重症度の高い患者に対して集中的な看護を提供し、患者本人とその家族の支援、医療スタッフ間の調整などを行い、最善の医療が提供されるよう支援する。	鎮痛と鎮静について フィジカルアセスメント 術後患者の合併症の理解と看護ケア 人工呼吸器装着患者の看護 術後患者の口腔内ケア
小児看護	1	・子どもたちが健やかに成長・発達していけるように療養生活を支援し、他の医療スタッフと連携して水準の高い看護を提供する。	長期入院をしている子どもと家族への看護 終末期を迎える子どもと家族への看護 復学支援 きょうだい支援
災害看護	7	・災害の特性をふまえ、限られた人的・物的資源の中でメンタルヘルスを含む適切な看護を提供する。平時から多職種や行政等と連携・協働し、減災・防災体制の構築と災害看護の発展に貢献する。	各施設での災害対策 災害看護教育 災害を想定した図上訓練 被災地支援 避難所 仮設住宅における看護

21

認定看護師

分野名	登録数	知識と技術（一部） *看護協会HPより抜粋	研修内容
救急看護	12	・救急医療現場における病態に応じた迅速な救命技術、トリアージの実施・災害時における急性期の医療ニーズに対するケア・危機状況にある患者・家族への早期の介入および支援	急変徴候の捉え方 急変時の対応 トリアージ フィジカルアセスメント アナフィラキシーショック 敗血症での看護 危機状況にある患者家族看護 救急カートの管理について
皮膚・排泄ケア	20	・褥瘡などの創傷管理およびストーマ、失禁等の排泄管理 ・患者・家族の自己管理およびセルフケア支援	褥瘡 ポジショニング演習 スキンケア スキンテア 医療関連機器圧迫創傷 オムツの選択や交換方法 ストーマケア 自己導尿のセルフケア支援 排尿自立に向けた支援
集中ケア	8	・生命の危機状態にある患者の病態変化を予測した重篤化の予防 ・廃用症候群などの二次的合併症の予防および回復のための早期リハビリテーションの実施	フィジカルアセスメント 人工呼吸器管理 不整脈への対応 敗血症の看護 深部静脈血栓症予防 ルートドレーン管理 気切カニューレの管理 バイタルサインの考え方 呼吸循環の基礎
緩和ケア	11	・疼痛、呼吸困難、全身倦怠感、浮腫などの苦痛症状の緩和 ・患者・家族への喪失と悲嘆のケア	グリーフケア リンパ浮腫ケア 意思決定支援における看護師の役割 スピリチュアルケア 看取りのケア 家族看護 終末期患者の家族指導 エンゼルケア がん患者の口腔トラブルとケア 鎮静中のケア スタッフケア
がん化学療法看護	9	・がん化学療法薬の安全な取り扱いと適切な投与管理 ・副作用症状の緩和およびセルフケア支援	薬物療法を受けながら在宅療養を続ける患者への支援 治療期の意思決定支援 就労サポート アピアランスケア(外見のケア) 抗がん剤の副作用 曝露対策
がん性疼痛看護	9	・痛みの総合的な評価と個別のケア ・薬剤の適切な使用および疼痛緩和	具体的な疼痛の聴き分け方 高齢者の痛みのケア 認知症がん患者の疼痛ケア リンパ浮腫ケア 痛みのアセスメントと薬物的アプローチについて
訪問看護	9	・在宅療養者の主体性を尊重したセルフケア支援およびケースマネジメント看護技術の提供と管理	エンドオブライフケア 訪問看護での倫理的問題 在宅復帰に向けての移行支援 病院とステーションの連携 地域包括ケアにおける看護師の役割 家族支援
感染管理	26	・医療関連感染サーベイランスの実践 ・各施設の状況の評価と感染予防・管理システムの構築	標準予防策(手指衛生など) 疾患別感染対策 薬剤耐性菌について 職員の感染予防 施設マニュアル見直し支援 アウトブレイクの対応 実技(個人防護具の着脱 吐物処理など) 施設ラウンド
糖尿病看護	5	・血糖パターンマネジメント、フットケア等の疾病管理および療養生活支援	糖尿病の基礎知識 治療とケア 糖尿病性腎症予防 妊娠糖尿病 フットケア 医療安全 インスリンシドント
不妊症看護	1	・生殖医療を受けるカップルへの必要な情報提供および自己決定の支援	不妊治療の実際 不妊相談助成金の申請について 不妊症看護とがん看護

分野名	登録数	知識と技術(一部) *看護協会HPより抜粋	研修内容
新生児集中ケア	3	・ハイリスク新生児の病態変化を予測した重篤化の予防 ・生理学的安定と発育促進のためのケアおよび親子関係形成のための支援	ハイリスク新生児に対する親子関係形成 人工呼吸器装着中のケア 出生立ち合いにおける看護
透析看護	6	・安全かつ安楽な透析治療の管理 ・長期療養生活におけるセルフケア支援および自己決定の支援	血液透析、腹膜透析の看護 自己管理支援 腎代替療法選択に対する支援 慢性腎臓病の療養生活について 腎不全教室について
手術看護	14	・手術侵襲を最小限にし、二次的合併症を予防するための安全管理 (体温・体位管理、手術機材・機器の適切な管理等) ・周手術期(術前・中・後)における継続看護の実践	麻酔が患者に与える影響 術中の急変対応 術中術後の合併症 術前評価 心理支援 ラテックスアレルギー 患者と家族の心理支援 手術体位の工夫 チームワーク 周術期口腔ケアについて 喫煙が麻酔に与える影響
乳がん看護	4	・集学的治療を受ける患者のセルフケアおよび自己決定の支援 ・ボディイメージの変容による心理・社会的問題に対する支援	若年乳がん患者へのケア 意思決定支援 ボディイメージ変容に対する支援 リンパ浮腫の予防セルフケア(上肢) 自己検診について 乳がんと妊孕性 遺伝性乳がん 卵巣がん症候群 (遺伝カウンセリング)
摂食・嚥下障害看護	8	・摂食・嚥下機能の評価および誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水の予防 ・適切かつ安全な摂食・嚥下訓練の選択および実施	高齢者の嚥下障害 口腔ケア 誤嚥性肺炎の予防 食事介助の基礎演習 認知症の方への食事支援 食べる事、経腸栄養の意志決定支援
小児救急看護	2	・救急時の子どもの病態に応じた迅速な救命技術、トリアージの実施 ・育児不安、虐待への対応と子どもと親の権利擁護	家庭における病気の予防と子どもの見方 発達段階に応じたフィジカルアセスメント プレパレーションを含む看護ケアの提供 重度心身障害児の看護 感染対策 事故予防
認知症看護	14	・認知症の各期に応じた療養環境の調整およびケア体制の構築 ・行動心理症状の緩和・予防	せん妄と認知症 認知症患者のアセスメント コミュニケーション方法 退院支援ケアチーム体制の構築 院内デイ 療養環境の作り方
脳卒中リハビリテーション看護	11	・脳卒中患者の重篤化を予防するためのモニタリングとケア ・活動性維持・促進のための早期リハビリテーション ・急性期・回復期・維持期における生活再構築のための機能回復支援	脳卒中の病態と特徴 合併症予防 ポジショニング 安全安楽なトランスファーと体位変換 生活の中でできるリハビリテーション看護 廃用症候群とその予防について 初期対応 危険防止対策 高次脳機能障害への看護
がん放射線療法看護	3	・がん放射線治療に伴う副作用症状の予防、緩和およびセルフケア支援 ・安全・安楽な治療環境の提供	放射線治療の副作用 セルフケア 安全安楽な治療環境の提供
慢性呼吸器疾患看護	18	・安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた呼吸器機能の評価及び呼吸管理 ・呼吸機能維持・向上のための呼吸リハビリテーションの実施 ・急性増悪予防のためのセルフケア支援	呼吸フィジカルアセスメント 口腔ケア 在宅酸素療法について 吸入療法について 禁煙外来のすすめ方と心理的支援 外来指導(禁煙、吸入、HOT、NPPV) 在宅における呼吸器疾患看護 吸引方法 排痰援助 小児の呼吸ケア
慢性心不全看護	4	・安定期、増悪期、終末期の各病期に応じた生活調整及びセルフケア支援 ・心不全増悪因子の評価およびモニタリング	心不全増悪因子回避のためのセルフケア支援 指導
197			
精神科看護	6	・うつ病看護、精神科薬物療法看護、精神科訪問看護等	看護師のストレスへの対処 疾患の理解 認知行動療法 身体拘束減少に向けてできる看護ケア 精神科における看護倫理 死にたい人にどう関わるか 精神科の薬剤の作用副作用 精神訪問看護 地域での困難事例検討

研修テーマ、内容については自病院のニーズを具体的にして、講師との事前打ち合わせでご検討ください。